

「地域で人を育てる」

地域に根付いた高校
その財産をどう生かすか

私がコーディネーターとして着任し、実際に学校に通うようになった10月、ちょうど学校祭が開かれていました。「日野高シヨップ」に長蛇の列ができていたのを見て、「地域に根付いているんだな」と感じました。加えて、まだ名前も知らない先生や保護者の方も気さくに話しかけてくれ、とても開放的な学校だと思いました。

また、黒坂施設で行っている地域との交流はすばらしいものですし、ほかにも大学の共同学習、地域との音楽交流など、特筆すべき取り組みが多数あります。私も、ほかの「魅力化」で先進的な高校の話の聞いたり、視察にも行ったりしましたが、日野高校の活動は先進校にも引けを取らないところが優れている部分も多いです。ただ、一つ一つは優れていても、それをつなげることができていないように感じます。この財産をどのように発展させ、生徒

の学びをどう向上させるかがポイントだと感じました。

かつて日野郡出身者が多く通った学びの過去と現実

地域には「根雨高」「日野産高」出身者が多く、高校に対する愛着はとも深いものがあります。当時は、日野郡出身の生徒がほとんどだったと聞きますが、今では8割の生徒が米子市方面から通っており、地域の人が慣れ親しんできた高校が、「何か別のもの」に変わってしまったという焦燥感のようなものも感じました。

地域と高校の間に感じた距離
双方をつなぐ懸け橋として

着任してすぐ、日野郡3町の職員の皆さんをはじめ、地域の皆さんにも日野高校についてのいろいろな話を聞きました。その中で感じたのが、「地域と高校の心理的距離の大きさ」でした。人間、不確かなものについては噂を信じたり、その噂から推測して悪い方に考えたりしますよね。だ

ことが魅力化への第一歩



PROFILE
片平 誓子

4月6日生まれ、米子市在住。
趣味は、ロードバイクでのツーリング。自然を感じながら、日南町や大山まで足を延ばすことも。

から、「まずはお互いをもっと知ろう！」ということに重点を置いた企画を提案しました。

例えば、日野郡3町の広報紙に「日野高コーナー」を

設け、生徒の活動や陸上部によるストレッチ講座など、地域へ情報発信を行ったほか、地域の人たちをサポートとして招き課題研究などの授業を一緒に行いました。生徒とかかわることで現在の高校の姿に触れ、その将来について一緒に考えてもらおうと思ったのです。

地域・高校・行政が
手を取り合い
同じ方向を向けるか

私がすくぶにつかつた壁（課題）は、「日野高校の魅力化についてのビジョンが、高校と行政で共有されていない」ということでした。

分かりやすく言うと、「コーディネーターの立場」がその例で、役場でも学校でも、コーディネーターである私が何をすればいいのか明確にされていませんでした。誰の指示を受けることもなく、自分の考

えで実行し、仕事をしてきたのですが、これでは、私の行動が本当に「高校の魅力化」に結びついているのか判断する基準がありません。現在も、ビジョンの共有はできておらず、「魅力化」という目標もぼんやりしたままです。

また、地域の人たちと話をしている中、学校への期待が、日野高校の現状とマッチしていないということも感じます。地域はまだまだ日野高校について知らないし、学校も、地域と協力しながら「魅力化」を果たす、という考えには至ら

ず、それが学校の魅力となり、地域にも、未来を担う子どもたちにも、必要とされる学習の場になると思います。

生徒も地域も共に
輝ける場づくりを目指して

高校や地域の皆さんにも協力してもらい、地域の中に生徒が活躍できる場づくりを心がけています。新規の事業を考えるというより、今ある学校のカリキュラムの中で、地域を題材にできるものがあれば、地域から講師を招いたり、今まで教室内で行っていた授業を町の中で行ったり（フィールドワーク）、部活動でも地域とかかわりを持つようにしています。

地域の支えで
生徒も高校もきつと変わる

「教育」は、学校の中だけで行うものではないですよね。家族や地域の皆さんの力が絶対に必要です。地域の中で生活している皆さんは、それだけでも生徒にとっては宝の山です。生徒は地域の皆さんから学び、一緒に考え、最後には、自ら羽ばたいていかなければなりません。そのため力と勇気を生徒に授けてあげてください。

まずは、生徒と親しくなっていたり、町の中で生徒と出会ったら、どうぞ気兼ねなく声をかけてください。地域の皆さんに声をかけてもらうことで、生徒はきつと変わっていくことでしょう。それが、日野高校の魅力化への第一歩となっていくのではないのでしょうか。



▲伝統ある黒坂小学校との交流活動。生徒が自ら考え、成長するきっかけに

ていないという気がします。県教育委員会との協議などが必要な部分も大いにあると思いますが、地域も学校もまずは、どのポイントで「これが日野高の魅力だ」と言えるものを見出すのか、そのビジョンを一緒につくり上げる努力をしていくことが重要で

内でも今まで多くの公立学校が統廃合されてきたと思います。その結果起こったのが、地域文化の弱体化です。地域に伝わる手仕事や食文化、知恵などを受け継ぐ人がいなくなり、伝統行事が廃れていくという状況に陥っています。これは、ひいては日本文化そのものの衰退を招き、独自の視点で世界と勝負する力さえ失っていくことにつながると危惧します。



▶フィールドワークには、生徒の将来の進路に役立つ狙いも



▶陸上部が企画した健康ストレッチ講座